



CloudConductorを使ってみた

Rev.1.0

2014/06/27

OSSラボ株式会社



自己紹介



- 氏名 : 加藤光雪
- 職業 : システムエンジニア
- 経歴 : NCのBase Systemの開発
交通管制システムの開発
SIPを使ったゲートウェイやVPNアプリの開発
インターネットセキュリティシステムの構築
サポートセンタ
- 現在 : OSSを使ったシステムの構築、評価などなど
特にFabricにはまっています。

インストールしてみた

リリースされたので、とにかくインストールしてみました。

- 環境として、VMPlayer上のCentOS 6.5を用意しました。
- CloudConductorの非常に簡単でした。
 - 1時間くらいで動作確認まで完了！！
- 事前の環境構築が大変でした。
 - 約1日かかり
rubyのインストールに殆どの時間を費やしました。

インストールの流れ(概要)

- 1) CentOS6.5をGUI minimumで用意
- 2) githubアカウントの用意
- 3) gitのインストール
- 4) sqlite-develのインストール
- 5) rbenvを使って、ruby 2.0のインストール
- 6) rubygemsのインストール
- 7) bundlerのインストール
- 8) nodejsのインストール
- 9) 最後に、openssl-develをインストール
 - ※ これが無いと後にエラーではまります。
- 10) CloudConductorのインストール
- 11) 動作確認

使ってみた



1)ドキュメントが・・・無い。。。

“マニュアル”の“Conductor UI 利用マニュアル”には、UIの説明はあったが、操作の流れがなかったので、“Downloads”の“説明用スライド&動画”をPlay & Pauseでやってみた。

→ 何とか定義ファイルまで出来ました！！

2)実際に作って・・・みれなかった。。。

OpenStackの環境を揃えるだけのリソースがありませんでした。

→ 個人のノートPC上のVMPlayerでOpenStack環境まで用意
でいせんでした。。。

すみません。 m(_ _)m

感想(言いたい放題ですみません)



- 1) サイトの構成をもう少し分かりやすくするか、YouTubeでなく文字にしてほしかった。
→ 流石に、Play & Pauseはきつかった。
- 2) VMイメージがダウンロードできますが、OpenStack用だけでなく、ほかのも用意してほしい。
→ 簡単に使うだけだと、OpenStack環境を揃えるのはハードルが高いかと。
- 3) やっぱりインストーラがほしい。
→ OSとGitHubアカウントを用意したら、後は自動でインストールできたらいいかと。

感想(本当に言いたい放題)



- 1) みただけで、実際に動かすには、必要なリソースが。。。
→ 最小で動かすだけで、3VM以上が必要。
(CloudConductor、OpenStack、作られるシステム)
- 2) APIのコマンド仕様がかったが、どうやって使うのかわからない。
→ 取りあえず、サンプルのコードをTCPソケットで、送ったらプロセスが落ちてしまった・・・
- 3) やっぱり、現状構成からの定義ファイルを作成するツールがほしい。
→ 現状、稼働しているシステムからシステムの骨格だけでも吸い上げられたら良いかと思えます。